

くてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

もくじ

- 一般質問(9人) 2~6ページ
- 意見書 6ページ
- 議案の審議結果一覧 7ページ
- 本会議の審議状況/委員会の審査状況 8~9ページ
- 行政視察報告 10~11ページ
- 議会報告会、管内研修 12ページ
- 行政視察受け入れ 13ページ
- 議会中継について、議長日記、12月定例会の予定、編集後記
..... 14ページ

秋

第95号

2017年
11月22日発行

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。
問い合わせ / 図書館 ☎ 0550-82-0391



議員全体管内研修

平成28年度決算審査のために、市内6か所を視察しました。



御殿場市議会

Gotemba City Assembly



杉山 護 議員
市民21



You Tube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

中心市街地活性化事業について

経済環境委員会において、松本市で実施している街なみ環境整備事業を行政視察した。

問 当市においても中心市街地活性化事業を実施しているが、駅周辺について、今後どのような展開を考えているのか伺う。

答 駅周辺については、都市計画道路路新橋深沢線や箱根乙女口広場・同線、新橋ぐみ沢線の整備を進めており、景観計画指定路線については、無電柱化を進める。

いずれにしても、利用者の安全の確保と利便性の向上、中心市街地の景観を考慮し、駅周辺の事業を推進していく。

問 松本市ではまちづくりを官民協働で行い効果をあげているが、当市の状況について伺う。

答 まちづくりについては、御殿場駅東地区まちづくり懇話



御殿場駅箱根乙女口線の様子

答 御殿場駅から富士山を見ることのできる整備に向け、民間事業者のご協力のもと、ホテル等の低層化に関して協議を進めている。また、空中回廊ペDESTロリアンデッキや立体駐車場等のインフラ整備をホテル施設の移転と合わせ進めたいと考えている。

問 御殿場駅富士山口広場整備事業の今後の進め方を伺う。

会及び御殿場市中心市街地活性化協議会を設立し、商工会、当該中心市街地の商店会、公共交通機関の法人や地域経済、医療、福祉の関係団体、行政機関の代表者等にて構成し、基本計画の策定に関する協議をお願いし意見等を頂いている。



杉山 章夫 議員
市民21



You Tube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

当市の今後のまちづくり整備計画について

問 アウトレットの拡張に伴う、まちづくりの構想を伺う。

答 面積6万㎡、300店舗と日本最大のアウトレットとなり、ホテル・温泉棟が設備される。市では、交流人口、滞留人口の増加、約千人の雇用創出等、経済観光発展になると評価する。市内への来客者の回遊を目指す。

問 まちなか再生支援事業等の補助金の活用と研究の成果について伺う。

答 補助金活用に向け中心市街地活性化基本計画の策定準備中である。効果的活用を行う。

問 御殿場線の利活用等を含めた当市のまちづくりのコンセプトについて伺う。

答 御殿場駅は地域生活交通の拠点であり、観光交流客にとって街の玄関口である。JR御殿

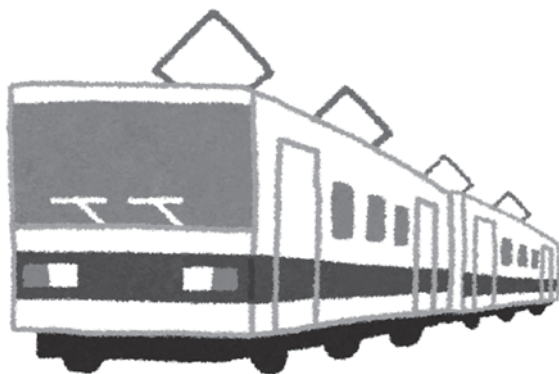
場線利便性の向上は、必要不可欠と考える。

問 ICカード利用エリアの拡大について経過説明を伺う。

答 御殿場駅から沼津駅までに続き、10年間の要望活動により、御殿場以東下曽我までが平成31年春に利用可能となる。

問 御殿場線利便性向上と、今後のまちづくりの方向性は。

答 東京往復運行や小田急の相互乗り入れ、目玉として成田エクスプレスの延伸等を要望。まちづくりは市民協働で行う。市を取り巻く環境には大きな追い風があり、機を逃さずに取り組む。





よし のり
菅沼芳徳 議員
改新

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

工業用地開発の状況及び今後の開発について

問 (仮称)夏刈南部工業団地の状況について。

答 現在、測量設計業務及び物件補償調査業務に着手している。本年秋頃より用地取得交渉を物件保証に関する交渉と併せて行い、平成30年夏頃の造成工事着手を目指し、完成は平成31年度を予定している。

問 今後の工業用地の開発と課題について。

答 現在事業を進めている(仮称)夏刈南部工業団地の東側地域と板妻南工業団地の北側地域を検討している。

夏刈地域は全体で64ヘクタールの土地であり、現在、約4.8ヘクタールに着手している。残りの59ヘクタールについては、他にこのような広大な工業適地は無いことから、地域の活性化や雇用につながる開発に向け、関係する各方面と検討を進めていくが、



(仮称)夏刈南部工業団地 上空からの写真

200名を超える地権者の事業への理解や森林法など対応すべき課題もある。
板妻南工業団地北側地域については、約7ヘクタールを想定しており、既に板妻南工業団地に進出した企業が具体的な計画例となつて、多くの企業から関心を示されると考える。

問 開発に関連した課題に対応するための専門部署の設置について。

答 基本的には、現在の組織体制を基に企業誘致担当部署である商工振興課と工業用地開発担当部署である都市整備課が連携していくが、事業全体を考慮し適正な組織体制の検討をしていく。

中小企業の振興について



ただし
平松忠司 議員
改新

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

中小企業は、日本の全企業数の99.7%を占め、地域の雇用を担う中心産業であり、経済を支える大きな力である。
本市の中小企業振興施策について質問する。

問 本市の中小企業の現状を伺う。

答 企業総数の99.9%、1,075社の中小企業があり、従業員数では、95.7%、15,371人である。
市内企業の大部分が中小企業であり、雇用創出や地域に根差した活動による地域振興、活性化に寄与していただいている。

人手不足や後継者不足、インターネット通販に見られる商圏のボーダレス化等、社会的・経済的環境の変化に対する課題は多いが、その中で新規に創業される方も多い。その為市では現在、国の認定を受けるべく、「御殿場市創業支援計画」の策定作業を進めている。



問 中小企業振興施策への取り組みについて伺う。

答 企業誘致関連、小規模企業振興、雇用、勤労者向け等の多くの施策があり、それぞれ大きな効果を上げている。

問 今後の中小企業振興施策のあり方について伺う。

答 既存の制度は、効果を検証しながら継続したい。

新たな取り組みとして、中小企業に対する行政、企業、地域の支援・協力の姿勢や役割を明確にする「(仮称)御殿場市中小企業振興基本条例」の制定に向け、現在、中小企業の皆さまと意見交換を進めている。



えみこ
小林恵美子 議員
公明党



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

安全安心なまちづくりについて

問 当市の防犯体制について、現状を伺う。

答 小学校区を単位とした自主防犯活動団体による、防犯パトロールの実施や、「かけこみ110番の家」の住宅や店舗で犯罪の未然防止に協力いただいている。さらに、地域安全推進員85人が、防犯教室、振り込め詐欺防止広報等の活動を実施している。また、「みくりや安心だねつと事業」等で、高齢者の見守りネットワーク事業を展開している。警察署・防犯協会・地域や学校、家庭が一体となつて防犯啓発活動を実施している。

問 ICT（情報通信技術）の活用による地域包括型見守りシステムに対する見解を伺う。

答 ICTなど最新技術を活用した取り組みについては把握しているが、今後の進歩とともに注視をしていく。



問 当市の防犯体制、活動に対しては大きく評価するが、縦割り体制で全体が見えにくい。防犯、見守り体制の有機的な連携による総合的な地域包括型システムについて、方向を定め指針の作成等に着手してはいかがか。

答 平成18年に制定した「防犯まちづくり条例」に基づく既存の防犯活動の連動が有効な見守りになる。各部署や地域団体が実施している防犯事業を体系化し、役割を明確にして当市の方向性を定め市民の皆様にお知らせし、市民総がかりの見守りで、より強固な防犯体制につながっていくと考える。誰もが安全・安心に暮らせる為に行政と地域住民が一体となった見守り体制の構築に取り組んでいく。

農家民宿の波及効果と支援策について



かずこ
黒澤佳壽子 議員
市民ネット・なでこ



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

経済環境委員会の年間テーマであった「農家民宿の推進」が二子区の3農家のご理解で実現する。関係者の期待は大きい。

問 農家民宿開業についてのご見解を伺う。

答 「ごてんば農家民宿村」をコンセプトに皆で開業を支える。当市の魅力を市内外に発信する新ツールとして期待する。

問 農家民宿開業の波及効果と移住定住について伺う。

答 民宿に関わる様々な業種への経済的効果。地域農業の振興。当市の魅力を体験した宿泊者の移住定住推進が期待できる。

問 モデル地域の拡大と民宿開業への支援方策を伺う。

答 今回の開業を支援していくことが全市的展開につながる。

誘客の面で期待できる農家民宿経営者が製造可能となる「どぶろく製造免許」の申請、市民農園開設に向けた支援を行う。

行財政の見える化について

当市議会は「議会の見える化」に尽力している。行政側の情報発信にも透明性を求める。

問 情報発信の分析評価と「見える化」の構築を伺う。

答 各媒体の特徴を生かし情報発信し市民の行財政への理解向上に努めている。開かれた行政の推進を目指し、全庁的に情報発信への認識を深め、市民の知りたい情報、有用な情報を効果的な方法で発信していく。市民による公文書開示請求には制度の適正な運用を引き続き徹底する。



る放送体制がとられる。

答 施設は耐震性がある。停電時には、バックアップ電源と可搬型発電機により対応する。演奏所、送信所等をつなぐ、NTT専用回線が遮断された場合は、簡易放送設備を送信所に直接接続し、仮設演奏所による放送体制がとられる。

問 災害に対する施設の対応能力は。

答 エフエム御殿場は、当市の重要な情報発信媒体であり、今後必要となる支援や連携を図っていくことが当市の役割である。

問 エフエム御殿場に対する当市の役割は。

エフエム御殿場に求められる大きな機能は、災害時の緊急情報の発信であり、当市は、連携を強化し、国の支援を得て、災害時に機能発揮ができるよう努めることが重要である。

災害に備えた当市とエフエム御殿場との連携について



じんの よしたか
神野義孝 議員
新政

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

問 FM放送を活用した自動起動ラジオ導入の検討予定は。

答 自動起動ラジオは、同報無線の親局が耐用年数を迎える10年程度先を目途として検討する。なお、戸別受信機の後継機種は防災ラジオを含めて検討し、整備計画を今年度中に作成し平成31年度から整備していく。

問 Jアラートによる情報入手後のエフエム御殿場との対応、今後の訓練予定は。

答 Jアラートの情報伝達は即時性が求められる為、機械的に通常放送の中に割り込みをさせる方法について、検討を重ねている。対応訓練は市役所東館への仮設スタジオ設置等の実動訓練を実施していきたい。

御殿場市と小山町をエリアとするコミュニティFMです。

GOGO86.3 MHz
富士山GOGOエフエム
FMラジオ**86.3**メガヘルツで放送中!

音楽と内容の質が高いエフエム御殿場



まさひと
高木理文 議員
無会派(日本共産党)

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

軍事訓練から住民の生活を守る自治体の責任について

問 日米共同訓練を恒常化させないための対応を伺う。

答 原則合意事項を踏まえ、東富士演習場において日米共同訓練を恒常化し、日米共同演習場化させないよう引き続き国に求めていく。

問 自衛隊ヘリコプターや事故が続くオスプレイ等の軍用機事故への対応を伺う。

答 オスプレイに限らず航空機の運用に当たっては安全確保が大前提。これまでも国に対して繰り返し要請を行っている。

問 治安・安全対策について伺う。

答 最優先事項としてとらえ、治安・安全対策や隊員の服務管理の徹底には特に慎重かつ厳しい姿勢で対応している。

御殿場市の指定管理者制度について

問 市の出資法人である御殿場総合サービス株式会社の指定管理者としての課題は。

答 施設管理は健全に行われており課題は見受けられない。

問 馬術・スポーツセンターへの木質チップの放置については。

答 ご指摘の事案は指定管理業務以外の事業で、下請け業者が行ったこと。指定管理者の適格性に何ら影響しない。

問 これまで市の出資団体としての監査は行われていない。住民の信頼を高める意味でも外部の監査体制の確立を提案する。

答 経営状況報告書は毎年度、議会で説明されている。



昨年に続く米海兵隊による155ミリ榴弾砲の実弾射撃訓練



さみこ
辻川公子 議員
市民ネット・なでしこ



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

病児保育について

共働き家庭にとって、子どもの体調不良による通園停止は、深刻な問題である。現在御殿場市の受け入れ実績は年56人。三島市は民間クリニック併設施設で年2千人が無料利用している。

問 本市の現状と課題・方向性はいかがか。

答 本市は1園の自園園児のみ、の病児保育を実施している。課題は専用場所の確保、専門資格者の確保。近隣市町との連携の可能性を含め、その拡充を検討する。

学校現場について

問 中教審の教員の長時間勤務、是正の意識改革提言を受け、現状課題や対応策は。

答 教員の正式勤務時間は朝8時から16時半である。実態は「生徒指導」「保護者面談」「家庭訪問」



改修された御殿場小学校のプール

「事務処理」「朝晩の部活動指導」「自宅持ち帰り」等多忙の中、その出勤実態を記録に残す。4月より部活動の基準を定め、留守電導入等も検討し、長時間勤務縮減を図る。

※その他、本市は現在、学校現場で茶は未提供であるが地元茶葉組合との連携姿勢をただした。

問 御殿場小学校のプールが4億円で改修された。小山町は無料で学校プールが開放されている。御殿場市も同様の地域開放を願う声への対応は。

答 市民からの声がある場合は、ニーズ把握の為、アンケートと費用対効果を検証する。

意見書

9月定例会で採択された意見書を掲載します。
道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置に関する意見書の提出について

道路は市民の安全・安心な暮らしや、地域経済の活性化や持続的な成長を支えるとともに、災害時には緊急輸送路として機能するなど、市民生活に欠くことのできない重要な社会基盤である。

しかしながら、本市では、道路整備の遅れにより、交通渋滞や災害による通行止めなど、市民生活への多大な影響が生じていることから、地域高規格道路を始め、国道、都道府県道、市町村道などの整備を一層推進する必要がある。加えて、急速に進む道路施設の老朽化への対策も着実に実施しなければならない状況にある。

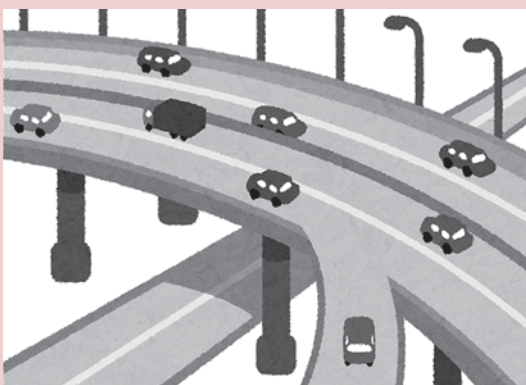
このような状況において、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下「道路財特法」という。)の規定により、国道、都道府県道、市町村道などへの補助率等が嵩上げされているが、この措置が平成29年度で終了した場合、地方の財政負担が増加し、道路整備の推進に加え、老朽化対策にも大

な影響が及ぶこととなる。

よって、国においては、道路財特法の規定による補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続するとともに、更なる拡充等の措置を講じることが強く要望する。

(提出先)

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣



議案の審議結果一覧

平成29年 9月定例会

【全会一致で可決等された議案】

(決算)

- ・平成28年度御殿場市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市観光施設事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市救急医療センター特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成28年度御殿場市上水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- ・平成28年度御殿場市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

(補正予算)

- ・平成29年度御殿場市一般会計補正予算(第2号)について
- ・平成29年度御殿場市一般会計補正予算(第3号)について
- ・平成29年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

(条例)

- ・御殿場市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市上水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

(契約)

- ・社会資本整備総合交付金事業 市道0106号線道路改良工事請負契約の締結について
- ・消防ポンプ自動車の取得について
- ・御殿場市体育館改修建築工事請負契約の締結について
- ・御殿場市体育館改修電気設備工事請負契約の締結について
- ・東名高速道路(仮称)駒門スマートインターチェンジ整備に係る用地取得について

(その他)

- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の変更について

(人事)

- ・御殿場市教育委員会委員の任命について

(報告)

- ・平成28年度御殿場市一般会計等健全化判断比率について
- ・平成28年度御殿場市特別会計資金不足比率について

(議院提出議案)

- ・道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置に関する意見書の提出について

【賛否が分かれた議案】

○賛成 ×反対 ※議長(勝間田博文)は採決に加わりません

議員名(議席順)	杉山 護	芹沢 修治	土屋 光行	本多 丞次	長田 文明	高橋 靖銘	大窪 民主	稲葉 元也	杉山 章夫	高木 理文	黒澤 佳壽子	辻川 公子	神野 義孝	田代 耕一	小林 恵美子	勝間田 博文	勝間田 幹也	勝亦 功	菅沼 芳徳	平松 忠司	高橋 利典
議案・結果																					
平成28年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
平成28年度御殿場市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
平成28年度御殿場市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○

本会議の審議状況

本会議で行われた議案審議の中から、主なものを掲載します。

平成28年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について

問 移住定住推進事業の成果についてどのように認識しているか。また、本事業の見通しと目標について。

答 移住者の把握を目的として、平成29年3月から始めた転入者へのアンケート調査によると、8月現在、アンケートに回答いただいた転入者124件のうち、13件が仕事やUターン以外の、当市での生活に魅力を感じての移住であることが判明し、当市が行う各施策とプロモーションの成果であると認識している。

目標としては、このアンケート調査による移住該当件数の倍増を二つの目標としている。

問 高齢者運転免許証自主返納事業における返納者243人の年齢別内訳について。また、初乗り運賃690円を12枚交付で十分と言えるかどうかの検証について。

答 昨年度交付者の年代別の内訳は60代が20人、70代が82人、80代が130人、90代が11人となっている。本事業を始めた昨年度は前年よ

り3割程度免許証返納者が増えてることから、返納へのきっかけ作りになっていると考えている。タクシー券については、補助的な移動手段としてタクシーを利用されている方も多く、また当市では、家族などに送迎する方がいない高齢者には、タクシー及びバス助成事業を併せて実施しており、本事業でのタクシー券の助成は充足していると認識している。



問 ふるさと納税こだわり推奨品PR事業の事業内容と納税実績について。

答 ふるさと納税サイト2か所と市独自で寄附の受附、首都圏の事業所へのパンフレット配布、各イベント等でパンフレット配布、会報誌等への挟み込み、広告掲載等のPRを行った。

実績は、平成27年度の約20倍に相当する7,025万円余で、寄附額に

対し経費は、寄附者に対する返礼に係る経費とふるさと納税専用サイトの利用に係る手数料として3,429万円余で約49%となっている。

寄附の使途については、「福祉の充実」「富士山へ訪れやすい街の環境整備」「子ども達の未来のための教育の充実」「ふるさと応援」「その他」の5つの使途を寄附の際に指定していただいている。いただいた寄附は、寄附者の希望に応じ、都市計画道路事業、教育振興事業、社会福祉、高齢者福祉の基金に積み立てられ、それぞれの事業に充当される予定。



問 御殿場駅周辺活性化事業における計画策定業務の委託先と実績及び課題について。

答 平成27・28年度の2か年で玉野総合コンサルタント(株)に委託した。実績は、まちづくり懇話会及び活性化協議会の意見を参考とした中心市街

地活性化基本計画(素案)を作成した。課題は、街中居住人口を増加させる民間事業者等による新たな住宅供給整備事業の計画がないことである。

問 待機児童の実態について。また、公立幼稚園の在園率は低調と思われる。公立幼稚園での受け入れ態勢検討の必要性について。

答 待機児童は、平成29年4月時点で13人であった。公立幼稚園で試行実施している預かり保育を検証し、より利用しやすい有効な制度となるよう実施内容について検討していく。また、幼稚園の魅力が増し、入園率が向上するよう、幼稚園や教育委員会と引き続き検討していく。



予算決算委員会で行われた審査の中から、主な質疑の内容を掲載します。

予算決算委員会

総務分科会

平成28年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について

問 昨年度から連続して、法人市民税が前年度対比で減収、個人市民税が増収となった背景は。

答 法人市民税の連続した減収は、税率引き下げの影響が続いているため。一方、個人市民税の増収は、前年同様ゆるやかな景気回復が続く、給与所得者の収入が増えているためである。

問 魅力発信事業のホームページ作成事業及びフィルムコミッション事業の状況について。

答 ホームページはリニューアルし、アクセス数が増えるなど費用対効果が出ている。フィルムコミッション事業は、右肩上がりでおファアがあり、さらに事業を推進していく。

平成28年度御殿場市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 収入率が上がり、不納欠損が減り、収入未済額も下がった背景について。

答 平成22年度から国保税の収納業務を税務課に移管し、きめ細やかな徴収・滞納処分が行われてきた成果。不納欠損は執行停止処分の状況により、前年比では増減が発生する。

問 国民健康保険の財政状況と今後の見通しについて。

答 平成28年度の黒字は、保険給付費が予想を下回ったため。しかし、平成30年度からは国保運営の都道府県化も控え、今後も財政状況は厳しさを増す。

福祉文教分科会

平成28年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について

問 教育相談事業の概要や成果は。

答 学校に行けない児童の支援のため、教育相談員が図書館に出張し個別指導を行っている。その他、各中学校区に1人設置されている指導員が不登校児等への対応をしており、家庭訪問による登校の促し等、継続的に児童に関わっている非常にニーズの高い事業だと感じている。



問 子ども医療費の件数及び金額増加の要因は。

答 算定は医療機関ごと月単位での請求数に基づいており、1つの疾病の長期化により1人あたりの受診額が増えている傾向にある。特に中高生の額が増えており、医療の高度化が要因であると認識している。

平成28年度御殿場市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 認知症地域支援推進委員の設置場所と活動内容について。

答 推進委員は当市の介護福祉課に臨時職員として、介護福祉士を1名設置している。業務内容は、認知症に関する相談対応や地域包括支援センター職員と高齢者宅への同行訪問、認知症の方も利用できるカフェの設置に携わっている。



経済環境分科会

平成28年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について

問 不法投棄廃棄物対策事業における、発見数及び通報件数について。

答 平成28年度は80件の不法投棄物を発見し、そのうち51件が通報によるものである。回収量は3,760kgで、年々減少している。今後、更なるパトロールの強化に努め、不法投棄撲滅に努めていく。

問 求職活動サポート事業の内容と実績について。

答 介護・子育て等の家庭事情により就労が困難な方を支援する為、週2回市民からの内職相談、斡旋業務を行っている。平成28年度の実績は、相談件数795件、内職希望登録者163人、斡旋件数135件となっており、いずれも前年度より増加している。

問 新橋ぐみ沢線道路整備における、用地収用の進捗について。

答 平成28年度は6件の用地買収及び物件補償を行い、大きく3か所の事業用地を確保した。年度末での進捗率は静岡県の事業期ベースでおおむね20%となっている。

総務委員会

7月4日～6日

沖縄県宜野湾市

「男女共同参画支援センターの活用」

支援センターは「ふくふく」と命名されていて2階建ての建物の1階は交流スペース、2階には講堂が配備されており、学習や啓発講座が開催されている。

大きな役割は女性からの相談対応であった。相談者のプライバシーは守られるが、大きな建物は必要ないと感じた。

沖縄県南城市

「南城ちやーGANJU CITY 創成戦略」

南城市の優位性や特殊性を生かした多様な経済価値を創り出すことで人口の増えるまちづくりに取り組んでいる。課題に目標を設定し業績評価指数を設けて自分たちの街の良いところを最大限にビジネスモデル化している。自分のまちの「よいところ」探しをする体制作りが必要と感じた。

沖縄県豊見城市

「第4次豊見城市行政改革アクションプラン」

市民が実感できるサービス満足度を向上させるため、職員が自発的に行政改革に取り組む姿勢を養うことで、市民サービスにつながっている。特徴は執行機関が人事課の職員で構成されていることであり、目標達成率を年度ごとの総合評価A～Dで



男女共同参画支援センター視察
(沖縄県宜野湾市)



集計されているため、取り組みの内容や行政改革の進捗状況が分かりやすい。その上、人事評価のツールとしても効果がみられる。

沖縄県那覇市那覇新都心(株)
「那覇新都心開発整備事業」

米軍キャンプ基地が返還された後の土地利用が、計画的に行われている。土地の区画整理をするために、那覇新都心(株)が設立され建設や運営及び管理を行っている。開発計画構想の重要性を感じた。

総務委員長 田代 耕一

福祉文教委員会

7月12日～14日

今年度の委員会の研修目標「教育環境の整備」を基に、左記3自治体の施策を視察した。

熊本県熊本市

「食育推進計画の概要」について

単に食育推進ではなく、食の安全安心との相関的で一体化された施策を、広く市民の力を生かして取り組んでいる。政令市として食育担当部門と、市の機関としての保健所食品安全班の両者の連携による施策の推進は力強いものを感じた。

熊本県八代市

「八代小学校におけるICT活用推進の概要」について

タブレットで学習支援ソフトを活用し、電子黒板と組み合わせ高度な授業展開を参観した。授業改革と公務改革を同時に進め、更に「わかる・できる」を実感する授業を通して、確かな学力をつけていくアプローチに感心した。タブレット活用のメリットを生かした指導が、児童の取り組みを活発にしていたことも素晴らしいと思った。

熊本県高森町

「高森中学校におけるICT活用の概要」について

まちづくりの根源的な面を教育改革とし、町長と教育長が強力に主導していた。特に教育環境整備を改革の軸としてICT化を推進しており、その中心が高森中学校である。



高森中学校におけるICT活用の視察
(熊本県高森町)



教育現場への電子黒板とタブレット及びデジタル教科書の導入。また、教務支援校務支援や図書館管理に係るシステムの導入による学校運営の効率化推進。更には、町内ネットワークやインターネット環境でのテレビ会議等、文部科学省の研究指定を受けて積極的に取り組む勢いを強く感じた。

教育環境の変化が著しい時代の中で、この度の視察の成果を当市の新しい時代の教育行政と学校教育に生かしていきたい。

福祉文教委員長 土屋 光行

経済環境委員会

7月3日～4日

長野県松本市では、「**街なみ環境整備事業**」について視察した。街の中心には国宝松本城があり、街の整備事業はそれを中心とし、5地区それぞれのコンセプトを生かして整備されている。古い街並みはそのまま生かし、電柱を地中化し歩きやすい街並みを整備している。また、この事業は市民の意識向上や協力が必須であり、市民の満足度や評価は高く、観光客誘致の効果は大きいものだと思われる。

岐阜県高山市(株)焼岳すっぽんでは、「**新規産業の開拓**」について視察した。富士山の湧水がある当市も、これを活用した新規産業として、チョウザメの養殖や販売等事業化の可能性を検証した。チョウザメは病気に強く飼育もさほど手がかからないが、馴染みが薄い食材であるため販売ルート確保が困難である。また、卵(キャビア)や魚肉の出荷まで平均10年かかり、採算ベースに乗せるのに資金面に相当な負担がかかる。その為、この事業には、将来的な投資ができる企業が名乗りを上げることが期待する。

長野県諏訪市では、「**中小企業振興基本条例**」について視察した。全国の市町がこの条例制定を進めている中、当市でも中小企業家同友会御殿場支部が中心となって関係各所と進めている。条例制定が平成12年と全国的にも早い諏訪市は、以前

から具体的取り組みをしていた為、理念条例としての姿勢を示すことに意味があるとしている。審議会については各団体で年2、3回実施している。当市においても、この条例に関連する条例の現状や機能について検証することが必要である。

経済環境委員長 本多 丞次



「新規産業の開拓」について視察
(岐阜県高山市)



議会運営委員会

8月9日～10日

茨城県守谷市では、「**市議会ICT化推進(タブレット導入)**」について視察した。

守谷市議会では平成25年にタブレット導入の検討を開始し、翌年11月には、議会のペーパーレス化と議員事務局間の情報共有を目的に、検討開始からわずか1年余で導入に至っている。

本市議会においては、今年度6月からYouTubeを利用し市議会中継(録画)を実施。12月議会からタブレット端末導入を計画している。導入するに当たり使い勝手の良いものを選択していききたい。守谷市議会は、操作等個々の議員得手不得手あるが、ともあれ議員全員が一丸となって取り組んでいる点、習うより慣れろといった発想が大切であると感じた。

茨城県取手市では、「**議会改革の取り組み(議会報告会)**」について視察した。

取手市議会は、平成22年第1回議会報告会を開催し、今年度までに15回議会報告会が開かれている。この間、参加者が少ない時期も続いたが平成27年第12回議会報告会より、アンケート結果等考慮し、意見交換会重視の議会報告会に切り替えた。その後参加者も増え、活発な意見交換が実施されている。

議会報告会は、一斉授業のような一方的な説明だけでは、参加者も不満に感ずる。意見交換ができる場の

提供が必要であり、市民の思いや意見を受け止める場にする必要がある。本市議会では昨年度から議会報告会を実施しているが、取手市のように回を重ねて試行錯誤し継続していくことが大切である。

議会運営委員長 勝間田 幹也



市議会ICT化推進(タブレット導入)について視察
(茨城県守谷市)



議会運営委員会において、今まで以上に開かれた議会を目指すための取り組みとして、議会報告会を開催することを決定しました。議会の活動状況を分かりやすく市民に報告し、市民との活発な意見交換を行うため、各委員会ごとに報告テーマを定め、実施しています。

福祉文教委員会

実施日：平成29年6月24日(土)

場所：御殿場市民会館会議室

参加人数：71名

所管部局：健康福祉部
教育部

今回の議会報告会は、当委員会が所管する現在の重要施策等の内、次の4点について、関係諸団体をはじめ、多くの方々にご参加いただき、それぞれについて未来展望のある充実した意見交換やご提案をいただくことができました。

1 芸術文化振興事業について
事業への支援状況や議会の取り組みについて報告。
子ども達の健全育成の為に先人の遺産も含め、本物の作品に触れられる環境づくり等について、ご意見をいただいた。

2 介護における「生活支援体制整備事業」について
高齢者が元気に自立していくまっすぐりの為の本事業の内容と、議会の取り組みについて報告。
自立の為には、思いやりや助け合いについて学ぶ場を増やすべき等のご提案があった。

3 社会総がかりの「子ども条例と行動計画」について
計画策定までの議会の関わりや、計画の概要及び市民の皆さまにご協力いただくこと等を説明。
市民の皆さまへの意識化が重要。また、地域・保護者・関係団体と学校の密なる連携による具体的な活動が求められること等、積極的なご意見をいただいた。

4 新図書館建設構想（策定を目指して）について
図書館協議会における現在までの協議状況や、議会としての考え等について報告。
美術館や民俗資料館等と併せた人づくりの総合的施設を願う意見等が多く出された。
以上、大変有意義であったこの報告会の結果を、今後の活動にしっかり生かしていきたい。

福祉文教委員長 土屋 光行



議員全体管内研修

9月定例会決算審査に伴い平成28年度に実施された事業について、9月14日に6か所の視察を行いました!

① 神山自然公園



市民協働型公園整備事業 29年4月から開園

② 板妻南工業団地



工業団地開発事業 第2期造成工事が完了

③ 再資源化センター



粗大ごみ回収所等整備 29年10月から運営開始

⑥ 御殿場小学校プール



建築後約48年が経過したプールの改築工事

⑤ 中央テニスコート



砂入り人工芝舗装の張替修繕

④ たくみの郷



オープンから15年 茅葺屋根の葺き替え修繕

行政視察受け入れ

各市の議員が訪れ、当市の施策・事業を視察されました。

7月12日 | ^{いわくに}山口県岩国市議会
(会派 公明党議員団)

・市民交流センターの運営状況について



5月15日 | ^{すその}静岡県裾野市議会
(会派 未来すその)

・放課後児童クラブの運営について
・新庁舎の視察について



8月8日 | ^{きょうたなべ}京都府京田辺市議会
(文教福祉常任委員会)

・印野こども園について



8月4日 | ^{ぬまつ}静岡県沼津市議会
(会派 市民クラブ・志政会・公明党)

・議会活性化の取り組みについて



10月10日 | ^{にしお}愛知県西尾市議会
(会派 真誠会)

・市街化調整区域の宅地開発許可について



8月25日 | ^{おひろ}北海道帯広市議会
(会派 市政会)

・スポーツツーリズムの取り組みについて



議会中継をぜひ視聴いただけます

平成29年6月定例会から議会の一部を録画中継しています。

1 インターネット議会中継視聴方法(パソコン編)

●市のホームページから市議会のページへ
<http://www.city.gotemba.shizuoka.jp/>

配信内容

各定例会の一般質問・3月定例会の市長施政方針・3月定例会の代表質問

録画配信となりますので、会議終了から1週間程度配信に時間を要します。

※ホームページに記載されている注意事項・免責事項を確認の上、ご視聴ください。

2 タブレット端末及びスマートフォンからの視聴方法

●下のQRコードを読み取って中継ページへ

※インターネットへのアクセスが発生するため、通信料がかかります。



You Tube



議長日記

8月12日に第52回御殿場市障害者スポーツ大会に出席をしました。競技にも参加させて頂きましたが、なかなか難しく、上手くできずにおりましたが、その様子を見ていた選手から指導を頂いたおかげでできるようになりました。心遣いに感謝いたします。

ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念のもと、市民全員が楽しく暮らせる街を目指し、今後も日々の議会活動に邁進して参ります。



12月 定例会の予定

12月定例会は12月5日から12月20日までの16日間です。
 時間はいずれも午前10時からです。

20(水)	15(金)	14(木)	13(水)	12(火)
付託議案追加議案 審議採決	一般質問	一般質問	一般質問	提案理由説明 条例補正予算等審議

* 正式な会期日程は直前の議会運営委員会で決定されます。

詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください(市議会ホームページにも掲載しています)。

* いずれの日も傍聴することができます。

当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをしますので、お気軽にお越しください。



編集後記

平成29年4月に念願でありました庁舎東館が落成しました。市議会議場も東館3階4階に建設され、6月定例会から運用されました。

議員も当初は不慣れのため、多少のまごつきもありましたが、9月定例会ではスムーズな流れとなりました。傍聴者においても、3階の議会事務局での受付から4階の傍聴席への移動も同様でありました。また、平成28年度より実施しております、三常任委員会による市民の皆様への議会報告会も2年目を迎えました。今後も、皆様の期待に応えられますよう活動を続けて参ります。

最後に市議会だよりについてですが、見やすさ・読みやすさの観点から、一般質問の掲載方法の一部改善を実施しました。

今後とも皆様が読みたくなる市議会だよりを目指します。

委員 杉山 護

御殿場市議会広報委員会

委員長 文子 護明也 夫子 一司
 委員 理美 文明 元章 壽耕 忠
 副委員長 高木 山田 葉山 澤代 松
 委員 小林 杉長 稲杉 黒田 平



ご意見ご質問は議会事務局へ

Tel.0550-82-4323

Fax.0550-82-4326

御殿場市議会

検索

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷/(株)御殿場印刷所